

## ▼スキリージ皮下注 [注]

【重要度】 【一般製剤名】 リサンキズマブ（遺伝子組換え） Risankizumab（Genetical Recombination） 【分類】 皮膚疾患治療剤 [ヒト化抗ヒトIL-23p19モノクローナル抗体製剤]

【単位】 ▼75mg/Syr [0.83mL]

【常用量】 1回150mgを初回、4週後、以降12週間隔で投与■状態に応じて1回75mgに設定

【用法】 皮下注（投与毎に注射部位変更）

【透析患者への投与方法】 常用量（1）

【保存期CKD患者への投与方法】 常用量（1）

【特徴】 ヒト化抗ヒトIL-23p19モノクローナル抗体製剤で、IL-23のp19サブユニットに結合し、IL-23の作用を中和することで乾癬による皮膚症状や関節炎などを改善。

【主な副作用・毒性】

【安全性に関する情報】 長期安全性に関する評価（Papp KA, et al: J Am Acad Dermatol 2023 PMID: 37553030）

【F】

【tmax】 7日（1）

【代謝】 ペプチド、アミノ酸に分解（1）

【排泄】 ペプチド、アミノ酸として処理（1）

【CL/F】 0.239L/day（1）

【t1/2】 約30日（1）

【蛋白結合率】 該当しない（1）

【Vd】 Vc 5L/body, Vss 9L/body（1）

【MW】 約149,000

【透析性】 除去されないと思われる（5）

【O/W係数】

【肝障害患者への投与方法】

【小児CKD患者における報告】

【妊婦・授乳婦への投薬】

【主な臨床報告】

【更新日】 20230831

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。